



第36回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」  
in 愛媛県宇和島市



# Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 8日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

# Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 8日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

## 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

### 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

フードロス問題や地方創生に興味関心のある学生が日本全国の地域・農家へインターンとして訪れ、作物の収穫支援や現地での交流を通して一次産業や地域経済の活性化について考える取り組みです。

参加学生の旅費・交通費や現地での滞在費、食費等は、地域経済の活性化と社会発展に寄与するために設立した「**クラダシ基金**」から支援しています。

### クラダシチャレンジ実施の目的

**活動中**：収穫したものをKuradashiのサイト上で販売することで、新たな収益を生み出し、経済面で地方・農家を支えます。さらに、学生が現地を訪れることで町に活気をもたらし、地域の魅力をSNS等で発信することでさらなる発展のパワーに繋がります。

**活動後**：学生が自治体や農家の方1人1人の温かみに触れ、地方・農業の魅力を体感することで、将来のキャリア選択を通して地域に貢献しようという意識が芽生えます。

## 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

地域経済の活性化と社会発展に寄与するために  
設立された支援金制度「クラダシ基金」



地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・  
食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられます。

### クラダシ基金とは

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために創設した基金で、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」上における支援先の1つです。

地域創生事業やフードバンク支援事業、教育事業、食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に活用しています。

クラチャレの運営費も、本基金から拠出されています。

### ▼参考URL

クラダシ基金について  
：<https://www.kuradashi.jp/fund>

## ● 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

### 第36回 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県宇和島市

---

- 活動内容：①鮮魚の加工
  - ②現地の方との意見交換
  - ③現地観光
  - ④SNS等を利用した地方の魅力発信
- 開催期間：2023年11月23日(木)～30日(木)
- 参加人数：2人
- 実施企業：株式会社クラダシ（クラダシ基金にて運営）

## 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

### 【宇和島市とは？】



宇和島市は四国の西南に位置し、生産量日本一を誇る鯛や真珠などの養殖が盛んに行われています。また、歴史と文化のまちでもあり、宇和島城は現存十二天守の一つとして重要文化財に指定されています。

### 【宇和島市クラチャレ開催の背景】



2023年9月6日、宇和島で生じるフードロスの削減や人手不足の解消・地域活性を目的に、クラダシ、宇和島市、愛媛銀行の3者にて「宇和島市におけるSDGsの推進に係る食品ロス削減及び特産品のPRに向けた連携協定」を締結致しました。宇和島市での開催は今回が初めてとなります！

## 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

### 第36回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県宇和島市の目的

#### ①宇和島市の活性化

宇和島市は、愛媛県の県南部に位置する市であり、日本屈指のリアス式海岸地帯としても有名です。魚の養殖が盛んにおこなわれていると同時に、AIを搭載した給餌機の活用など先進的な取り組みも実施し、注目を集めています。また、魚だけでなく真珠の養殖地としても有名です。一方で、人口減少と少子高齢化と同時に、生産年齢人口が減少、農業の担い手の高齢化が深刻化しており、耕作放棄地の増加などさまざまな課題がでています。これらの現状を踏まえ、クラダシチャレンジを通して、学生が身をもって感じた宇和島市の魅力を全国に広め、宇和島市の地域活性化に貢献します。

#### ②宇和島市の関係人口増加に貢献、若者を呼び地域振興に

都心の学生と地域の農家さんが共に汗を流し、熱く語り合うことができるのも魅力のひとつ。作業を通して、生産者の苦勞も含めて様々な学びを得て、農業そのものや、その地域に価値を見出す学生がたくさんいます。そして**SNSを通じてその魅力を発信することで、認知拡大や地域の関係人口の増加を図ります。**

#### ③地域の特産品の購買促進に

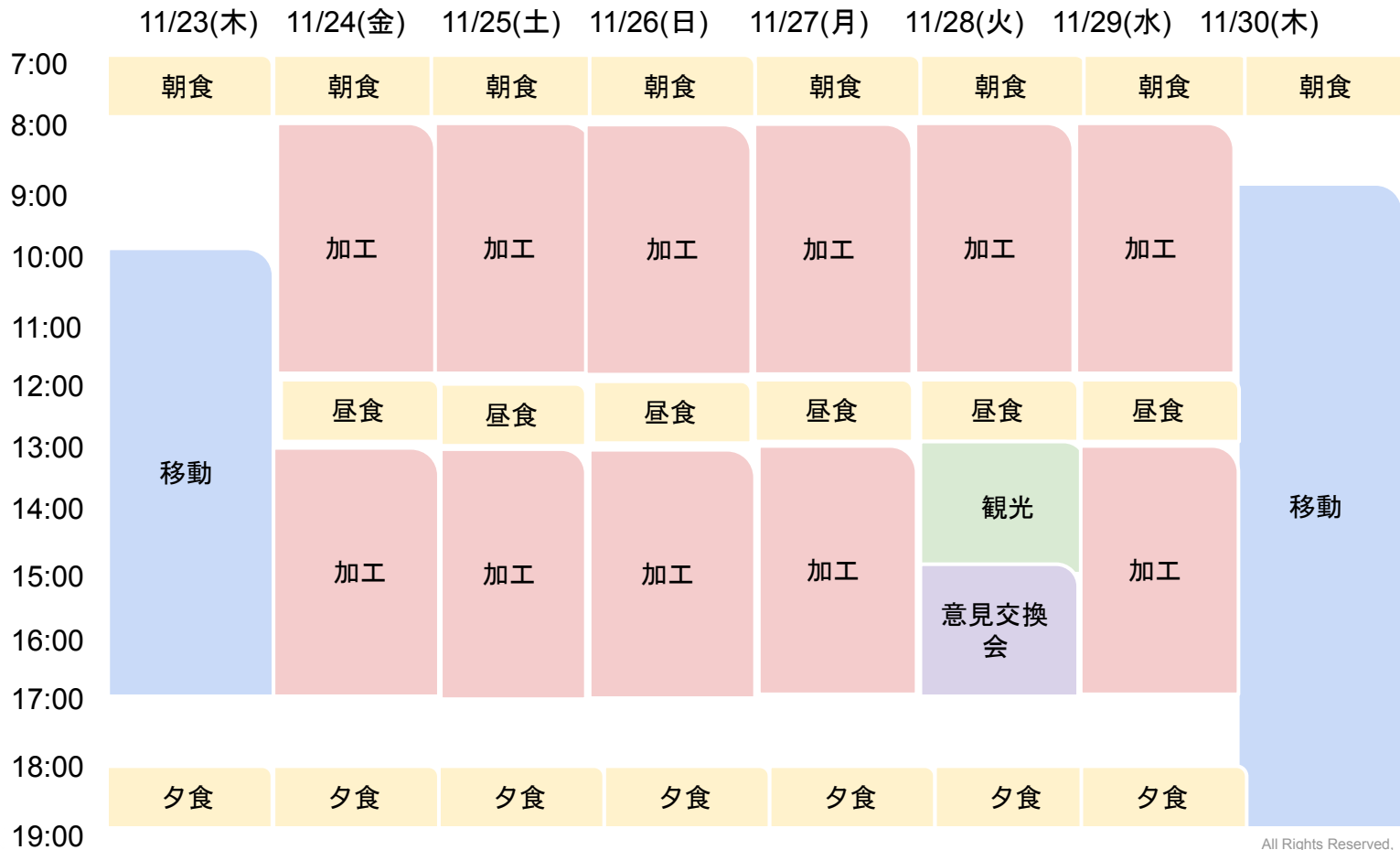
宇和島には、魅力的な特産品がたくさんあります。中には、とっても美味しいのに、市場での知名度があまり高くないものも存在します。そこで、**クラチャレの活動や特産品をSNSなどでPRすることで、購買促進を図ります。**



# Agenda

01. クラダシチャレンジとは
- 02. 8日間のスケジュール**
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

## 02. 8日間のスケジュール



# Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 8日間のスケジュール
- 03. 活動報告**
04. 参加者の声
05. 事後報告会

### 03. 活動報告 ～鮮魚の加工～

宇和島プロジェクト様にて1週間、ブリや鯛などの内臓を取り除く作業や、鱗をとる作業、出荷の作業などの水産加工のお手伝いをさせていただきました。

普段食べていた魚がどのような過程を経て、私たち消費者の口に運ばれるのか、そして、その間にどれだけ多くの人の苦労があるのかを身をもって学びました。



### 03. 活動報告～意見交換会～

宇和島に関わった一員として、意見交換会では宇和島市長さんをはじめとした多くの方々と、どのようにすれば宇和島市を盛り上げていけるかについて話し合いました。

宇和島市が直面する様々な課題について深く学び、それぞれの立場から何ができるかを考え、内容の濃い意見交換会となりました。



### 03. 活動報告～観光～

観光を通じて、宇和島市は、文化と歴史、自然、人がまじわう魅力あふれる場所だと実感しました。

宇和島城・宇和津彦神社・天赦園・闘牛場などを訪れ、宇和島の人々が大切に受け継いできた歴史や文化の息吹を感じました。  
海の方に行くと穏やかな海で養殖が行われており、自然を活かした地元の人々の営みが見受けられました。



# Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 8日間のスケジュール
03. 活動報告
- 04. 参加者の声**
05. 事後報告会

## 04. 参加者の声①

### 人と人が「まじわう」トコロ・宇和島！

この度は様々なご縁に恵まれ、約1週間クラダシチャレンジに参加させていただくことになりました。鮮魚の加工作業を通して、第一次産業に従事する方々の大変さはもちろんのこと、どんな思いでその仕事に日々取り組んでいるのかについても知ることができました。そして、自分たちが加工した魚で、全国の誰かが喜んでくれると考えると、クラチャレに参加した甲斐があったように思えます。宇和島には悠久の歴史と豊かな自然、そしてそれらを生かした人々の暮らしがあり、出会う方はどなたも優しかったです。また、意見交換会では、こうした宇和島の魅力をどう伝えていくかを考えましたが、デジタル化でいろいろな情報やモノが入手できるようになりましたが、宇和島の魅力は現地に行かなければ体験できないものだと思います。今後も宇和島の魅力を発信していきたいと思っています。



【山口大学3年 徳田幸太郎】



## 04. 参加者の声②

### 「食」と「地方創生」のありかた

私は、東京都出身で、現在は静岡市に暮らしているため、過疎化が進んでいる地域との繋がりはほとんどありませんでした。クラチャレ参加のきっかけは、大学の授業で初めて農村について学び、地方創生に深い興味を抱いたことにあります。そして、今回のクラチャレは、鮮魚加工作業や意見交換会を通して、「食」と「地方創生」とは何かについて見つめ直せる絶好な機会となりました。

私が行った加工場での作業はシンプルであったにも関わらず、かなりハードであり、驚きました。この経験から、「食」はあたりまえのものではなく、生産者がいてこそそのものだという事を再認識しました。また、クラチャレを通して、「地方創生」を実現するための方法に正解はないとの結論にたどり着くと同時に、その地域が持つ強みを生かしながら、その土地に適している「地方創生」を探っていく必要があると考えました。



【静岡大学4年 桐生適誠】

# Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 8日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
- 05. 事後報告会**

## 05. 事後報告会

第34回/35回/36回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 茨城県かすみがうら市、長野県松本市と合同で宇和島クラチャレ参加者による事後報告会を行いました。

■日時：2023年12月26日 13:00-15:00

■場所：クラダシオフィス・オンライン配信

■参加者：「クラダシチャレンジ in 茨城県かすみがうら市」参加学生  
「クラダシチャレンジ in 長野県松本市」参加学生  
「クラダシチャレンジ in 愛媛県宇和島市」参加学生  
かすみがうら市の方々  
松本市の方々  
宇和島市の方々  
クラダシ社員

■目的：参加した学生が、現地の方との交流・収穫支援の活動を通して見出した課題への解決策を提案する



## ● クラダシについて

社名	株式会社クラダシ
設立	2014年7月
所在地	東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F
代表者	代表取締役社長 関藤 竜也
事業内容	ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営
URL	<a href="https://www.kuradashi.jp/">https://www.kuradashi.jp/</a> (ショッピングサイト) <a href="https://corp.kuradashi.jp/">https://corp.kuradashi.jp/</a> (会社HP)

株式会社クラダシは、宇和島市以外の自治体でも支援を引き続き行なってまいります。  
ご質問・ご相談等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

次のページから、  
事後報告会で学生が発表したスライドを紹介します！！

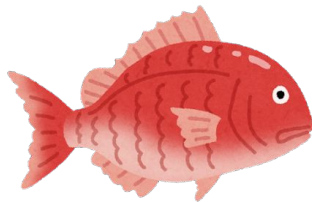
2023年12月26日



# 第36回クラダシチャレンジin愛媛県宇和島市 事後報告会



- ・桐生適誠
- ・徳田幸太郎





## 目次

- 1 活動報告
- 2 課題と解決策の提案
  - 2-1 課題の発見とその解決のために
  - 2-2 基幹産業の活用
  - 2-3 関係・交流人口の創出
  - 2-4 地域社会の取り組み
- 3 結論
- 4 まとめ

# 1 活動報告

## 2 課題と解決策の提案

2-1 課題の発見とその解決のために

2-2 基幹産業の活用

2-3 関係・交流人口の創出

2-4 地域社会の取り組み

## 3 結論

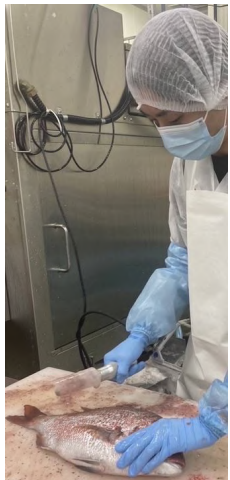
## 4 まとめ



# 鮮魚の加工

## <加工作業>

宇和島プロジェクト様にて1週間、ブリや鯛などの内臓を取り除く作業や、鱗をとる作業、出荷の作業などの水産加工のお手伝いをさせていただきました。普段食べていた魚がどのような過程を経て、私たち消費者の口に運ばれるのか、そして、その間にどれだけ多くの人の苦労があるのかを身をもって学びました。



# 意見交換会

＜宇和島に関わった一員として＞  
意見交換会では宇和島市長さんをはじめとした多くの方々と、どのようにすれば宇和島市を盛り上げていけるかについて話し合いました。宇和島市も様々な問題に直面していましたが、それぞれの立場から何ができるかを考え、内容の濃い意見交換会となりました。



＜文化と歴史・自然・人がまじわうトコロ＞

宇和島城・宇和津彦神社・天赦園・闘牛場などを訪れ、宇和島の人々が大切に受け継いできた歴史や文化の息吹を感じました。  
海の方に行くと穏やかな海で養殖が行われており、自然を活かした地元の人々の営みが見受けられました。



1 活動報告

## 2 課題と解決策の提案

2-1 課題の発見とその解決のために

2-2 基幹産業の活用

2-3 関係・交流人口の創出

2-4 地域社会の取り組み

3 結論

4 まとめ

1 活動報告

## 2 課題と解決策の提案

### 2-1 課題の発見とその解決のために

2-2 基幹産業の活用

2-3 関係・交流人口の創出

2-4 地域社会の取り組み

3 結論

4 まとめ

# 宇和島市が抱える課題

表1 宇和島市における人口推移

単位:人

区分	第6期			第7期		
	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)
総人口	80,629	79,099	77,606	76,079	74,750	73,367
年少人口(0歳~14歳)	8,708	8,387	8,109	7,877	7,634	7,366
生産年齢人口(15歳~64歳)	43,421	41,918	40,569	39,316	38,295	37,234
40歳~64歳	26,504	25,803	25,127	24,554	24,066	23,497
高齢者人口(65歳以上)	28,500	28,794	28,928	28,886	28,821	28,767
65歳~74歳(前期高齢者)	13,382	13,621	13,728	13,842	13,674	13,700
75歳以上(後期高齢者)	15,118	15,173	15,200	15,044	15,147	15,067
高齢化率	35.3%	36.4%	37.3%	38.0%	38.6%	39.2%
総人口に占める75歳以上の割合	18.8%	19.2%	19.6%	19.8%	20.3%	20.5%

- 総人口、生産年齢人口ともに減少傾向である。
- 高齢者人口は、2015年と比べて2020年の方が高い。
- 宇和島に住んでいる5人に2人が高齢者。

(宇和島市より)

## 課題:人口の減少や高齢化

- 農業・漁業従事者の後継者不足 → 耕作放棄地などの増加
- 若者人口の減少により街の活気が失われる



課題の解決に向けて取り組まなければ..

## 宇和島市の衰退が加速してしまう可能性も

# 課題の原因

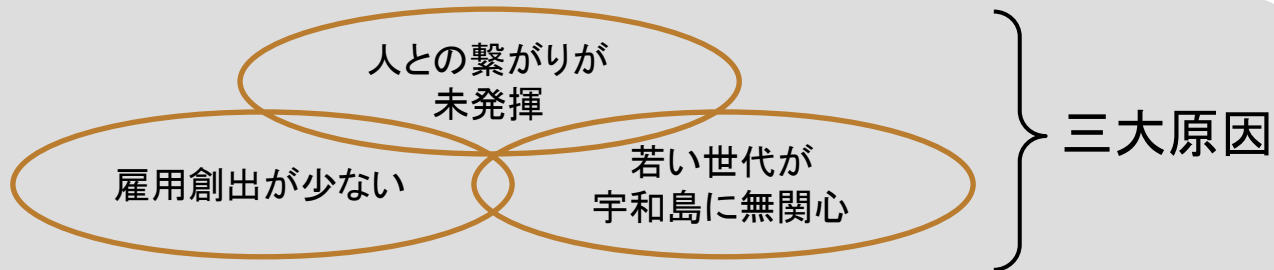
## 実際に九島でお会いした女性の声



- 宇和島には仕事がない。
- 農業では生活ができない。
- 段々畑が使われなくなった。
- 若い人たちは大学になると宇和島を出て行ってしまう。
- 高齢者ではお神輿も持ち上げられなくて、祭りが開催されなくなってしまふ。もっと若い力が必要。
- 宇和島では人とのつながりが強みだと思ふ。



仮説



## 三大原因をクリアすることで課題解決が可能

雇用創出が少ない

人との繋がりが  
未発揮

若い世代が  
宇和島に無関心

① 基幹産業の活用



② 関係・交流人口の創出



③ 地域社会の取り組み

最終目標

**持続可能なココロまじわう宇和島市**





1 活動報告

## 2 課題と解決策の提案

2-1 課題の発見とその解決のために

### 2-2 基幹産業の活用

2-3 関係・交流人口の創出

2-4 地域社会の取り組み

3 結論

4 まとめ

# 宇和島の一次産業を世界へ

前提: 宇和島の基幹産業 = 一次産業



宇和島の一次産業における  
良質な生産品を日本のみ  
ならず世界でブランド化へ。

段々畑のみかんやみかん鯛...  
グローバル化に合わせて...  
世界的なワイン文化を見習って...

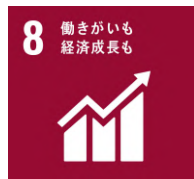


## 提案

そのようなきっかけとなるような事業を愛媛銀行や市が募集し、投資や補助金の配布を行う、  
**宇和島グローバルフォーカス一次産業支援ファンド**の設立。

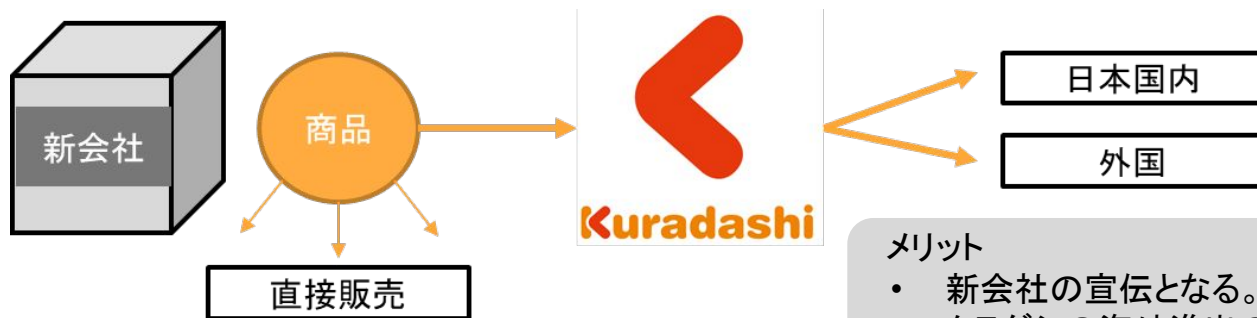
## ◎ 期待される効果

- ✓ 宇和島の農業や漁業の活性化 → 雇用の増加
- ✓ 生産・加工・販売会社であれば、クラダシとの連携可能
- ✓ スマート水産業やスマート農業をはじめとした一次産業の生産性向上や技術革新のための新事業 展開  
→雇用の創出 + 付加価値のある一次産業の実現  
→さらなるブランド化



# 新事業とクラダシの連携(例)

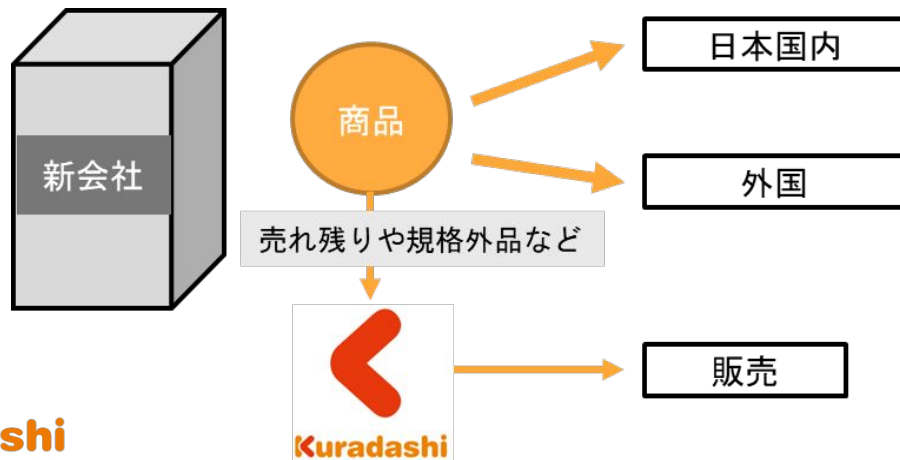
## 初期



### メリット

- 新会社の宣伝となる。
- クラダシの海外進出のきっかけとなる。

## 新会社の規模拡大



### メリット

- フードロスの削減。
- 消費者がブランド商品を安く購入できる。



国際連合広報センター(2019)より

1 活動報告

## 2 課題と解決策の提案

2-1 課題の発見とその解決のために

2-2 基幹産業の活用

### 2-3 関係・交流人口の創出

2-4 地域社会の取り組み

3 結論

4 まとめ

# ふるさと納税によって関係人口増加へ

## 近年のふるさと納税に対する関心の高まり



図1 ふるさと納税の受入額及び受入件数の推移(全国計)  
総務省(2022)より

- ふるさと納税の受入額及び受入件数は年々増加(図1)
- 日本でのふるさと納税の利用率は14.9%  
(ふるさと納税ガイド2023年)

→ 今後も利用者は増加すると考えられる  
→ ふるさと納税を有効活用したい

## 提案

クラウドファンディング型の  
ふるさと納税の活用

プロジェクトに合わせて寄附が可能

## 活用法

目標金額の超過分を寄附金額に応じて  
寄附者に還元する。  
例: 移住体験へ無料招待、  
地方創生イベントへの招待

**関係人口の増加**

# ボランティア・SNSの活用

## <ボランティアの活用>

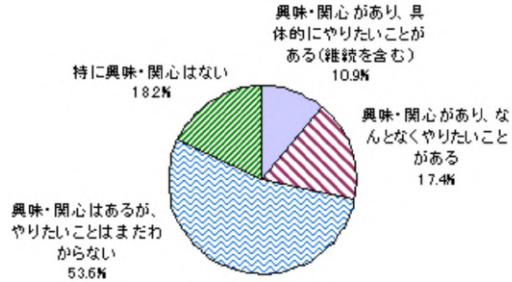


図2 ボランティアへの興味や関心  
文部科学省(2016)より

ボランティア活動 → 人々に需要あり(図2)

一方で

宇和島市ではボランティア活動の募集を行っている(宇和島市2023)が、受け身なように思われる。

提案

ボランティアサイトなどを利用した  
ボランティア募集の促進

例

- ・ 農作物の収穫
- ・ 水産物の加工
- ・ 観光地における清掃作業など



ボランティア人口の増加

・宇和島に触れる機会となる ・現地の人との関わりが得られる

## <SNSの活用>

InstagramやX(twitter)での発信はどの地域でも既に行っている

提案

TikTokやYouTube shortsなど新たなSNSの利  
用

補足: YouTuberの招待も発信手段となる可能性



ランダムに動画が流れるかつ、気軽に視聴できる  
→ バズリの可能性の上昇  
→ 外国人含め多くの人が宇和島を知り、  
訪れたいくなるようになる

# 観光の可能性と四国のポテンシャル

～観光業のこれから～

- ・コロナ禍からの脱却
- ・観光立国推進基本計画



<訪日外国人数>

2026年 4,000万人

2030年 5,000万人

(ニッセイ基礎研究所予測)

## 四国のポテンシャル

- ・四国は昔から多くのお遍路さんが訪れる土地
- ・「お接待」というおもてなしの文化
- ・「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産を目指す取り組み

(写真: 稲荷山護国院龍光寺(宇和島市) 四国八十八カ所霊場会HPより)



# 外国人観光客が求めるもの

表2 外国人観光客が訪日前に期待していたこと  
(全国籍・地域、複数回答)

順位	イベント	割合
①	日本食を食べること	76.2 %
②	ショッピング	56.6 %
③	自然・景勝地観光	46.8 %
④	繁華街の街歩き <small>交通省(2014)より</small>	40.0 %
⑤	日本の歴史・宇和島の歴史体験 ・多くの偉人を輩出した歴史	22.8 %

- ・独自の文化
- ・自然を活かした人々の営み
- ・宇和島に来ないとできないリアルな経験



# 歴史・文化を活かした観光

## <宇和島の主な歴史>

- 1600年頃 築城の名手・藤堂高虎が「宇和島」と命名し、宇和島城を築城（現存十二天守の一つ）
- 1615年 大坂の陣で功績をあげた伊達秀宗（伊達政宗の長男）が宇和島に 10万石を与えられる。  
以降、江戸時代を通して伊達氏が統治する。
- 幕末期 幕末四賢侯・伊達宗城が藩主に。大村益次郎などを登用する。明治維新の原動力に！
- 明治期 児島惟謙・穂積兄弟などの宇和島出身者が活躍！



## <宇和島に根付く独自文化>

・闘牛 ・牛鬼

宇和島独自の歴史・文化などを観光に  
活かせるのではないだろうか！



・歴史ドラマの誘致  
・闘牛などイベントの知名度向上



観光においては、同じ場所に長く留まってもらうことも大事！

せっかく宇和島に来た人に様々な宇和島のスポットを紹介して、周辺の宿泊施設や飲食店を利用してもらう！

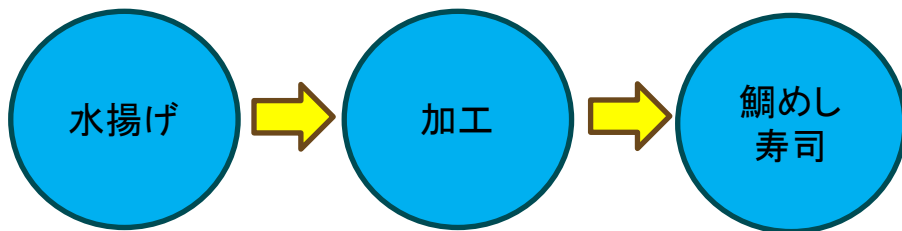
# 自然を活かした観光

USJを立て直した森岡毅氏(株式会社刀 CEO)曰く、「本能にぶっ刺さるものは当たる！」

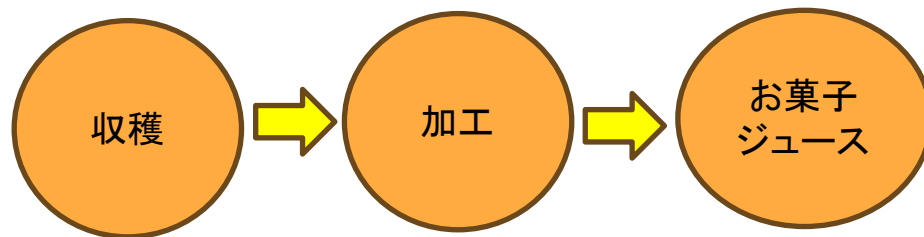
<提案>

食材を自ら採集し、加工し、食すリアルな経験。

① **海産物**: 宇和島プロジェクト様との連携事業



② **農産物**: みかん農家さんなどとの連携事業



1 活動報告

## 2 課題と解決策の提案

2-1 課題の発見とその解決のために

2-2 基幹産業の活用

2-3 関係・交流人口の創出

## 2-4 地域社会の取り組み

3 結論

4 まとめ

# 今いる人を留めるために ～人口流出の抑制～

## 宇和島の高校生が思う宇和島の印象



- ・大学がない(短大は廃止された)
- ・働き先がない
- ・遊ぶところがない



- ・大学があれば地元に残る人も増える？
- ・地域とのつながりが弱いため、働き先が無いのではなく、「知らない」可能性もある。  
(地元を離れた後に戻るといふ 選択肢も取れない。)
- ・若者の流出→娯楽施設の撤退→さらなる若者の流出  
という悪循環に陥っている？

# 大学の誘致とその効果

## ＜大学誘致 和歌山市を例に＞

- ・2018年～2022年までの5年間で4校の誘致に成功(全国最多)
- ・校舎には廃校跡地などを活用

～県外の大学などに進学する割合～  
2017年:85% ⇒ 2022年:79.7%

NHK(2023)より

## ＜地方私立大学の公立化 周南公立大を例に＞ 2022年に徳山大学が公立化

### ①入学志願倍率

令和3年:1.2倍⇒令和4年:7.7倍⇒令和5年:20倍  
(令和5年は国公立大学で全国1位)

### ②地域内入学者率

令和3年:3.8% ⇒ 令和4年:5.0%

・文部科学省()  
・公立大学法人周南公立大学(2022)  
より

**宇和島ならではの大学・学部を創設すべき！**  
→水産系・農業系など

# 地域と若者のつながりの強化



## <最近の学生>

- ・平日→学校・習い事と家との往復
- ・休日→部活や勉強



## <結果>

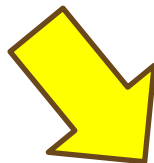
地域のことを知らずに地元を離れてしまう。  
その後、帰るという選択肢も無くなってしま  
う。

地元企業と学校が  
連携した取り組みが  
不可欠

# 宇和島をより誇りに思ってもらうために

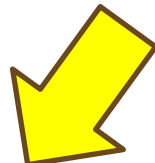
## <小・中学校>

地元の歴史教育や地域企業の見学・  
郷土料理の給食(食育)など



## <高校>

高校・企業が連携した就労体験や  
祭りの手伝い・商品開発など



### ・地元への愛着

→ 宇和島を出てからも宇和島を応援する人材に

### ・Uターンの可能性

→ 宇和島に帰って仕事をするという選択肢

11 住み続けられる  
まちづくりを



国際連合広報センター(2019)より

1 活動報告

2 課題と解決策の提案

2-1 課題の発見とその解決のために

2-2 基幹産業の活用

2-3 関係・交流人口の創出

2-4 地域社会の取り組み

**3 結論**

4 まとめ



- ✓ 宇和島では雇用、関係・交流人口、地域社会の取り組みに課題がみられる。
- ✓ 基幹産業である一次産業を生かす必要がある。  
→グローバルな視点も必要。
- ✓ 関係人口を増加させることがポイント。  
→ふるさと納税、ボランティア、SNSなどの活用。
- ✓ 観光は今後もさらに伸びていく産業であり、宇和島は多くのポテンシャル秘めている。  
→例① 歴史・文化を活かした観光客の呼び込み  
→例② 自然をリアルに味わうことのできる体験型の観光事業
- ✓ 今いる若者を留めるための政策が必須。  
→大学の誘致、できれば公立化まで行うべき。
- ✓ 若者(主に学生)と地域のつながりを強化していく必要がある。

1 活動報告

2 課題と解決策の提案

2-1 課題の発見とその解決のために

2-2 基幹産業の活用

2-3 関係・交流人口の創出

2-4 地域社会の取り組み

3 結論

4 まとめ

- 鮮魚加工作業や意見交換会を通して、「食」と「地方創生」とは何かについて見つめ直せる絶好な機会であった。
- 宇和島で「リアル」な体験ができ、ココロまじわうことのできた一週間であった。

# 参考文献

- ・宇和島市,【確定】宇和島市\_計画書0304,「第2章 宇和島市の現状と課題」,  
<https://www.city.uwajima.ehime.jp/uploaded/attachment/33647.pdf>, 2023年12月23日閲覧。
- ・宇和島市, ひととおと宇和島,「ココロまじわうトコロ」, 2019年, <https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/branding/archives528.html>, 2023年12月23日閲覧。
- ・国際連合広報センター,「SDGsのアイコン」, 2019年,  
[https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/sdgs\\_logo/sdgs\\_icon/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/sdgs_icon/), 2023年12月23日閲覧。
- ・総務省自治税務局市町村税課,「ふるさと納税に関する現況調査結果(令和3年度実施)」, 2022年,  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_zeisei/czaisei/czaisei\\_seido/furusato/file/report20210730.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/file/report20210730.pdf), 2023年12月23日閲覧。
- ・ふるさと納税ガイド,「ふるさと納税の都道府県別『利用者数・利用率』と『平均寄附金額』」, 2023年, <https://furusato.com/magazine/32339/>, 2023年12月23日閲覧。
- ・文部科学省,「2-2-2 ボランティア活動に対する国民の意識の概況」, 2016年, [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/houshi/detail/1369080.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/houshi/detail/1369080.html), 2023年12月23日閲覧。
- ・四国八十八ヶ所霊場会,「四国遍路八十八ヶ所」, <https://88shikokuhenro.jp/>, 2023年12月23日閲覧。
- ・NHK, 関西 NEWS WEB,「和歌山市 去年までの5年間に誘致した大学は計4校 全国最多」,  
<https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20230824/2000077233.html>, 2023年12月23日閲覧。
- ・文部科学省,「私立大学の公立化に際しての経済上の影響分析及び公立化効果の「見える化」に関するデータ」,  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kouritsu/1412396.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kouritsu/1412396.html), 2023年12月23日閲覧。
- ・国土交通省観光庁, 統計情報・白書,「訪日外国人消費動向調査」, 2023年, <https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syouthityousa.html>, 2023年12月23日閲覧。
- ・ニッセイ基礎研究所経済研究部,「中期経済見通し(2023~2033年度)」, 2023年,  
[https://www.nli--research-co-jp.cdn.ampproject.org/v/s/www.nli-research.co.jp/report/detail/id=76335?amp\\_gsa=1&amp\\_js\\_v=a9&mobileapp=1&site=nli&usqp=mq331AQIUAKwASCAAGM%3D#amp\\_tf=%251%24s&ampshare=https%3A%2F%2Fwww.nli-research.co.jp%2Freport%2Fdetail%2Fid%3D76335%3Fsite%3Dnli](https://www.nli--research-co-jp.cdn.ampproject.org/v/s/www.nli-research.co.jp/report/detail/id=76335?amp_gsa=1&amp_js_v=a9&mobileapp=1&site=nli&usqp=mq331AQIUAKwASCAAGM%3D#amp_tf=%251%24s&ampshare=https%3A%2F%2Fwww.nli-research.co.jp%2Freport%2Fdetail%2Fid%3D76335%3Fsite%3Dnli), 2023年12月23日閲覧。